

大学連携事業 活動報告シート

事業名	長久手市の医療費等現状分析【新規】
期間	平成27年8月12日（水）から平成28年3月31日（木）まで
連携大学	愛知県立大学
大学窓口	愛知県立大学 看護学部 岡本和士研究室（公衆衛生学・疫学）
担当課	保険医療課
事業内容	<p>市国保加入者のレセプト、健診データ等を活用して、長久手市の現状を分析し、国保加入者の健康課題に沿った保健事業を展開する。</p> <p>大学研究室には、データ分析にかかる相談や助言、その分析結果に基づき、保健事業の企画提案を求める。</p>

長久手市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定にあたり、データ分析結果をもとに打合せを行い、助言・提案をいただきました。

日程	内容
第1回：平成27年 8月12日	初回顔合わせ。看護学部：岡本和士教授 今後、データ分析の結果をもとにして、長久手市の傾向などについて意見交換していくこととした。
第2回：平成27年10月20日	データ分析結果を提示。 〈岡本教授からの助言・提案〉 <u>若い世代（40代～）へのアプローチ</u> 生活習慣は、親から子へ引き継がれるため、国保加入者の中でも比較的若い世代へのアプローチを行う必要がある。そのために年代別に医療費などのデータ分析を行う。
第3回：平成28年 1月 8日	〈岡本教授からの助言・提案〉 <u>若い世代（40代～）へのアプローチについて</u> 健康で長く働く（活動する）ことが、医療費の削減につながる。そのための先行投資として保健事業をとらえる。長久手市は国や県平均と比較すると高齢化率も低く問題がないようにみえるが、20年後のまちの状況を見据えて今から考える必要がある。